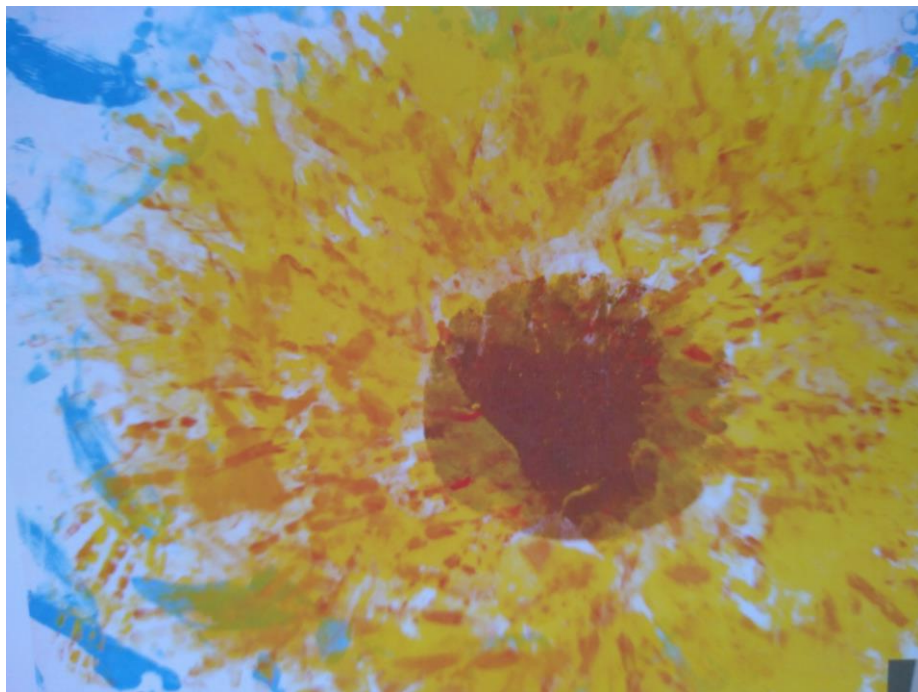


ベストグループ 児童発達支援



児童作品 ひまわり

—目次—

- 1 運動あそび 感覚あそび
 - 2 協調運動 ビジョントレーニング
 - 3 視覚支援
 - 4 コミュニケーション支援
 - 5 机上課題 自立課題
 - 6 日常生活支援
 - 7 ミュージックケア
 - 8 戸外活動
 - 9 就学前支援
 - 10 保育所等訪問・居宅訪問型児童発達支援・訪問リハビリ
 - 11 重症心身障がい児クラス
医療的ケアが必要な児童への対応
 - 12 専門職員紹介
 - 13 職員研修
- 事業所一覧

1. 運動あそび 感覚あそび



身体の発達にそった運動遊び、五感、固有感覚、前庭感覚、平衡感覚などを育てる感覚遊びが大切な時期です。

巧技台やマット、バランスボール等を用いた運動プログラムに楽しみながら取り組み、体の使い方やボディイメージ(身体図式)を覚えていきます

体幹を育てることが指先や目などの細かい動きの土台となります。



2. 協調運動・ビジョントレーニング

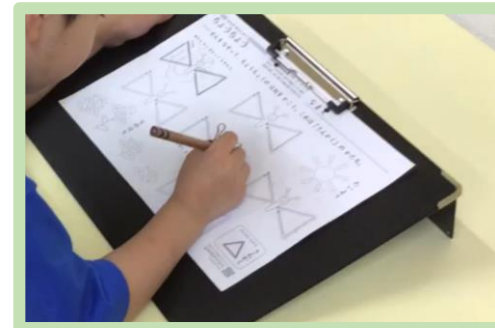


いろいろな活動を通して両手を上手に使ったり、お箸や鉛筆などの道具を使いこなせるようになります。

目と手を協調させて動作することは学習や日常生活すべてにおいて大切なポイントです



不器用さのあるお子様には、個々に合ったプログラムをスモールステップで練習して頂き、無理なく習得できる様、お手伝いしていきます。



ビジョントレーニング(視覚機能の発達を促す)を取り入れ、就学前に学習の土台作りを行います。

3. 視覚支援



↑スケジュールの見える化で次に何をするか見通しが立ちます



↑お片付けの手順を順にみながら一人でできます



←次の行動までの時間が見てわかります

「注意がそれやすい」「おぼえることがむずかしい」「言葉だけではやるべきことがイメージできにくい」
いろいろな課題があるお子さんに視覚支援を行います。
やるべき事が目で見て分かる、分からなくなったら確認出来る、先の見通しがつく、終わりが分かる、「わかる!」「出来る!」が増やせる支援を行います。

4. コミュニケーション支援



自閉症スペクトラムのお子様、ことばの表出に不安のあるお子様に、絵カード交換式コミュニケーション(PECS)を!

自発的な要求の表現方法や自身の気持ちや考えを相手に伝えられる様になると、ストレスが減り自傷行為が緩和されます。

ことばを表出するだけがコミュニケーション手段とは限らず、お子様に合った方法を一緒に考えていきたいと思えます。

5. 机上課題・自立課題



手を使う、道具を使う、
指示を理解して自分で
試行錯誤する

一人一人の成長に
合わせて机上課題や
一人でとりくめる自
立課題を支援します



椅子に座り、集中し
て取り組む時間を持
ちましょう

できることを増やし、
達成感をあじわい、
楽しく過ごしましょう



6. 日常生活支援



成長に合わせて自分の身の回りのこ
とができるよう生活の中でとりくみます。

クラスではお子様一人一人に
マーク(動物等の)を決め、そのマーク
をロッカーや靴箱、椅子や座る位置
に貼り、お子様が一人で行動できる様
に支援します。



<クラスでの生活場面>



食事の動作、トイレでの排泄、おきがえ
おかたづけ、持ち物の準備のほか
ごあいさつ、集団でのルールの理解
先生やお友達との話し方など、成長に
合わせて行動できるようお手伝いしま
す

7. ミュージックケア



音楽療法スタッフによるミュージックケアを定期的に行っています。音や歌に合わせて体を動かし、踊りや楽器ををとおぼえます。

言葉の発育にも大切な活動です。
個別に行うこともあります

3か月に1回グループ内でお披露目会を実施し、日頃の成果を発表しています

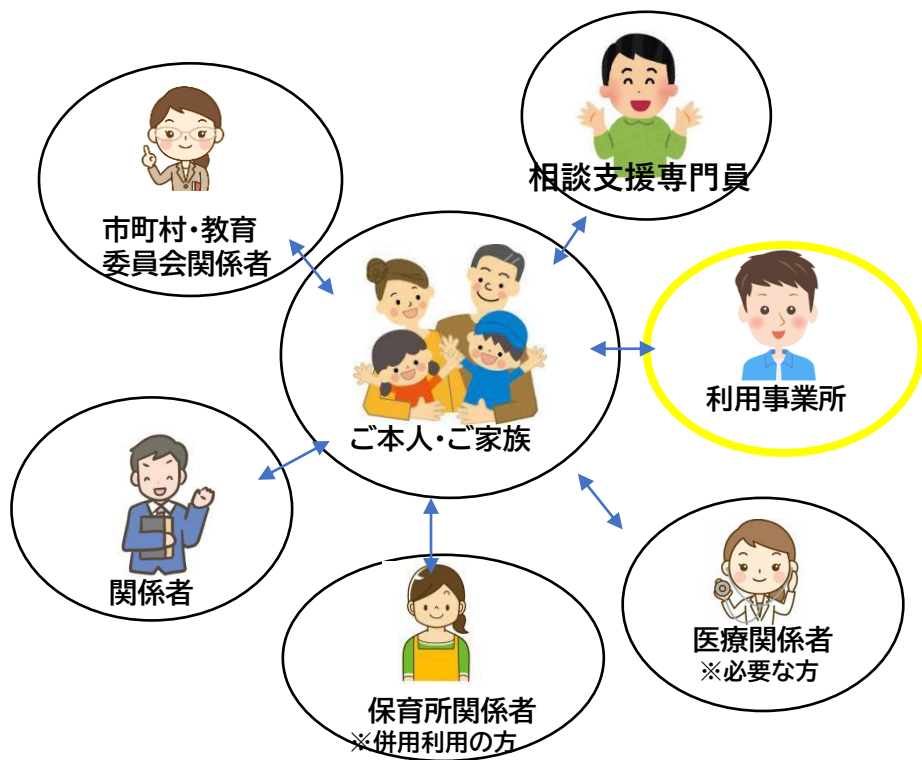
8. 戸外活動



近くの公園やちょっと遠くまでのお出掛け、図書館、農業体験など、室内では出来ない体験を提供致します

たくさんのもことや人、動物に触れ、感動し、共感する体験が心の発育を促します

9. 就学前支援



お子さまに合わせた学びが実現するよう、担当保健師や学校教育課等との連携支援を行い、就学までのサポートを行います。ご本人・ご家族、先生方の心配事が解決できるように、就学後のサポートも実施しています。

10. 保育所等訪問

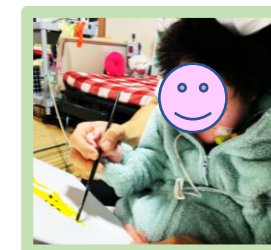
お子様によっては、必要に応じ、障がい児支援に関する知識、経験、技術を有する訪問支援員が、保育所や学校等を訪問し集団生活適応のための支援を行います。

***訪問先施設の同意が必要です**



居宅訪問型児童発達支援

重度の障がいにより児童発達支援や放課後等デイサービスの支援が受けられないお子様を対象に、居宅を訪問して発達の支援を行います



訪問リハビリ

機能訓練士(理学療法士・作業療法士)が自宅で機能訓練を提供します

11. 重症心身障がい児クラス

ベストグループでは、飯塚市、田川市、行橋市の事業所で、看護師、機能訓練士を配置した「重症心身障がい児」クラスを運営しております。医療的ケアや機能訓練が提供できます。他事業所との併用も可能です。



医療的ケアが必要なお子様への対応

ベストグループでは、クラスに看護師の配置、また訪問看護事業との連携により、どのクラスも医療的ケアのあるお子様の受け入れが可能です。経管栄養、導尿、吸引、その他の医療的ケアに対応が可能です。

12. グループ内専門職員

特別支援教育士/自閉症スペクトラム支援士 大竹

理学療法士 高取・海尾・安田

作業療法士 福田・彦田・溝上・野中・廣繁

ビジョントレーニングアドバイザー 高橋・池口

PECS支援 成田

訪問看護 山本

訪問リハビリ 中島

音楽療法士 西岡 久家 住田 辰島



13. 職員研修

<新任研修>

専門職員による講義ならびにクラスで3か月間の新人研修を実施し、特性のある児童の理解をすすめていきます

<研究発表会>

年2回 児童の特性と課題に対する支援方法の経過をまとめて発表しグループ全事業所で共有します

<業務改善報告>

年1回 業務内容の無理、無駄、ムラを防ぐための取り組みを行い、発表して共有しています

<クラス運営会議>

毎月、クラス運営、集団運営、各支援プログラム内容についてグループ内で報告会をもち、専門職員の助言を受けて共有しています

<クラス会議>

月2回 各クラススタッフで支援内容や活動の検討を行い、専門スタッフの助言を得ます

事業所一覧

事業本部 飯塚市有安1025-7
*無料相談ダイヤル 0948-26-5612

飯塚市 重症心身障がいサポートセンターひばり チェリー
(重症心身障がい児クラスあり)
飯塚市有安1025-7 ☎0948-43-4137

ひばりジュニア飯塚 ひがしがおか
飯塚市下三緒35-622 ☎0948-43-4348

嘉麻市 ひばりキッズ嘉麻ひばり ジュニア・なのはな・ひまわり
嘉麻市漆生1270-22 ☎0948-83-8607

田川市 ひばりキッズ田川のはな・ジュニア・ひなた ひだまり
(重症心身障がい児クラスほのか)
田川市伊田3621-1 ☎0947-85-8415

宮若市 ひばりキッズ宮若たんぽぽ ジュニアさくら・すみれ
宮若市鶴田1891-101 ☎0949-34-3939

鞍手町 ひばりキッズ・ジュニア鞍手いちょう
鞍手郡鞍手町室木1312 ☎0949-28-7411

行橋市 ひばりキッズ・ジュニア行橋もも・こうめ
(重症心身障がい児クラスあり)
行橋市南泉7丁目29-3 ☎0930-55-2622